

本書は、子どもたちがいじめ問題や日常生活の様々な課題を自らの力で解決できるよう年齢相応の社会的スキルを育成することを目的に横浜市教育委員会が開発した指導プログラム集です。

【学研教育みらい 新刊】

子どもの社会的スキル横浜プログラム

# 個から育てる集団づくり51

横浜市教育委員会・著

## 「子どもの社会的スキル横浜プログラム 個から育てる集団づくり 51」の特徴

- ・3つの基本体験(被受容体験・がまん体験・群れ合い体験)の不足によって積み残された発達課題(基本的信頼・自律・自他理解)の育成補充を図ります。
- ・「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」の3つのアプローチの視点から、体験や内省を通した子ども自身の「気づき」を通し、18の社会的スキルの育成を図ります。
- ・学級や子どもへのアセスメント機能を備え、個人や集団の課題を分析し、必要なプログラムを選択し、実践できるような構造になっています。

**学級や子どもへのアセスメント機能を備え、個人や集団の課題を分析し、必要なプログラムを選択・実践できる構造になっています！**

☆内容に関するお問い合わせは

TEL 045-671-3699

横浜教育委員会人権教育 児童・生徒課担当

☆販売に関するお問い合わせは

TEL 03-6431-1153/FAX 03-6431-1783

(株)学研教育みらい 学校教育事業部 担当:山本  
〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8

ご注文は、下記申込書にご記入のうえ FAX 03-6431-1783

(株)学研教育みらい 学校教育事業部 山本宛 ご連絡ください。

※ご注文いただきました商品は、学校宛お届けいたします。



【プログラムの例】

- 防犯・ネット上のモラルを考える(「あなたならどうする?」「知らない人に出会ったら」)
- 学級の凝集力を高め「学級崩壊」を防止(「ギューと団結!」「クラスをパワーアップやればできる!」「つながったね、みんなの心」)
- 不登校の未然防止(「名刺交換、よろしくね」「勝て勝て! パワーじゃんけん」)
- 暴力の未然防止(「堪忍袋」「イライラや不安・悩み解消法を見つけよう」)
- 非行防止・人間関係のトラブル防止(「はっきり断る」「『ごめん』の一言」「わたし言葉で会話しよう!」「考え方を広げよう」)
- あたたかな学級集団をつくる(「ありがとうをあなたに」「あなたのよいところは」)

書名: 子どもの社会的スキル横浜プログラム  
個から育てる集団づくり51

著者: 横浜市教育委員会

体裁: A4判・本文160ページ

定価1,575円(税込)

個から育てる 集団づくり51 申込書	学校名	小学校	中学校
	学校長名		
	担当者名		
	注文数		冊